

令和 7 年 7 月 1 日

長野県知事 様

## 令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

|                                  |                                    |                            |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------|
| 協定期間                             | 令和5年度から令和7年度                       |                            |
| 会 社 名                            | 日之出建工株式会社                          |                            |
| 住 所                              | 〒399-4601<br>長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8737-1 |                            |
| 代 表 者 名                          | 代表取締役 清水 利治                        |                            |
| 業 種                              | 製造業 ・ 建設業                          |                            |
| 処 理 施 設<br>所 在 地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名                                | 所 在 地                      |
|                                  |                                    |                            |
| 担 当 部 署                          | 営業部                                |                            |
| 担 当 者 名                          | 塩田 健                               |                            |
| 連 絡 先                            | T E L                              | 0265-70-7000               |
|                                  | F A X                              | 0265-79-6268               |
|                                  | 電子メールアドレス                          | hinode7000@orion.ocn.ne.jp |
| ホームページアドレス                       | http://www.                        |                            |

## 1 産業廃棄物 3 R 実践方針

1. 目的・目標を定め、定期的に見直しを行う。
2. 事前活動を持続的に改善し、汚染の予防を務める。
3. 建設廃棄物の分別を行い、リサイクル化・減量化を推進する。
4. 顧客の要望に応え、法令・協定等を厳守する。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                                              | R7 年度目標値  | R6 年度実績値  | R5 年度実績値  | R4 年度実績値  |
|--------------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総排出量の推移<br>( $\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$ )   | 1,913.00  | 1,913.57  | 808.62    | 3,438.33  |
| リサイクル量の推移<br>( $\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$ ) | 1,544.00  | 1,543.33  | 713.14    | 1,907.90  |
| 売上高の推移<br>(千円)                                               | 1,850,000 | 1,843,635 | 2,368,921 | 2,059,913 |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

1. 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
  - ・ 一人一人が創意工夫を持った無駄のない活動を行い、顧客・地域・地球の環境負担の低減に努める為に環境理念を設定し、それに倣った行動指針を自社HPにて公開。環境目的・環境目標も同時に公開し、より環境保全活動に励む意識を持つ。
2. 従業員教育（研修）計画
  - ・ 環境保全の意識を保つため、資源の無駄遣いなど目に余る際は社員が集う場において責任者から注意を促す。
3. リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）
  - ・ アセチレンガス・酸素ガス・ボリタンクの現場での取り扱いに厳重な注意を払う。
  - ・ 紙資源節約のため、裏面を使用する。
  - ・ リサイクル製品及び電化した住宅を顧客に薦める。
  - ・ 環境 ISO14001（初回登録日 2000 年 12 月 25 日より）を取得・更新、運用維持継続中。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・ 産業廃棄物処理責任者等
- ・ 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・ 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・ 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・ 従業員教育（研修）計画
- ・ リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・ 処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・ 不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・ 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・ 独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別 | 当年度目標値  | 過年度実績値  |         |         |
|----------|---------|---------|---------|---------|
|          | R7年度目標値 | R6年度実績値 | R5年度実績値 | R4年度実績値 |
| 再生砕石     | 100     | 100     | 100     | 100     |
|          |         |         |         |         |
|          |         |         |         |         |
|          |         |         |         |         |
| 全 体      | 100     | 100     | 100     | 100     |